

(様式第4号)

## 上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	上田市行財政改革推進委員会(第1回)
2	日 時	平成20年9月12日(金) 午前10時30分から午前11時55分まで
3	会 場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4	出席者	小池会長、宮沢副会長、鬼頭委員、斉藤委員、櫻井委員、塩入委員、高橋委員、武井委員、田中委員、南雲委員、西沢委員、堀内委員、三井委員、宮下委員、森田委員
5	市側出席者	母袋市長、小出総務部長、金子行政改革推進室長、鎌原係長、星野主査
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成20年9月18日

  

協 議 事 項 等	
1	開 会 (行政改革推進室長)
2	人事通知書の交付
3	市長あいさつ 第1期の委員会では、上田市の行財政改革の土台となる「第一次上田市行財政改革大綱」や「民間活力導入指針」の策定にあたり、原案をゼロからご審議いただいた。 市町村合併による新市発足から3年目となり、激動期を過ぎ、安定的な市政展開とともにさらなる飛躍を目指す時期に来ている。 行財政改革大綱とともに市政経営の車の両輪として位置づけている「第一次上田市総合計画」が昨年度策定され、今年度を初年度としてスタートした。 総合計画に基づく事業や施策を着実に実施して新市建設を進めるとともに、行財政改革の推進を確実なものとし、合併は最大の行財政改革と実感できるようにする必要があるものと感じている。 市として行財政改革大綱に基づく集中改革プランの取組みをきっちりと進めていくが、第2期の行財政改革推進委員会では集中改革プランの進捗に対する評価をいただき、集中改革プランの確実な実行にお力添えいただくようお願いし、また大いに期待したい。
4	委員自己紹介
5	事務局の紹介
6	会長・副会長の選出 会長に小池俊一委員、副会長には宮沢俊行委員を事務局が提案し、全会一致で決定した。
7	議事 (1)平成20年度の審議内容及び日程等について (事務局) 委員会の任務、第一次行財政改革大綱・民間活力導入指針、集中改革プランの進捗状況について説明。 (会 長) 集中改革プラン進捗状況の平成19年度の結果について、市が実施した評価を見ると×という評価がないが、市の内部での評価だけでは不十分ではないか。 平成20年度が終了した段階で、行財政改革推進委員会の視点から評価を行いたいと考えている。

市が示した原案を審議するだけの審議会もあるが、この委員会は常設の委員会として、市が原案を示せないような課題についても審議を行う。

(事務局) 平成20年度の審議内容及び日程等の事務局案について説明。

(会長) 市民満足度調査については、いつごろ報告されるのか。

(事務局) 現在、アンケート用紙を印刷しているので、次回の委員会で報告したい。

(会長) 地域自治センターのあり方について審議案として取り上げた理由はどうか。

(事務局) 地域自治センターの位置づけや役割について説明。

(会長) 今回の合併では新設対等合併という趣旨を踏まえて、旧町村役場に地域自治センターを設置するという新しい試みが行われた。

まちづくりの拠点としてスタートし、合併後2年半が経過する中で、市として見直しを行うが、本委員会でも議論してもらいたいということか。

(事務局) はい。

(会長) 地域協議会については、そのあり方を試行錯誤している途中だが、自治会との役割分担等の課題について原点に戻って考える時期に来ている。

自治センターの職員についても旧町村の職員がほとんどそのまま残っているが、地域の一体化という観点から考えると積極的に人事交流を行う必要がある。

来年4月のスタートを目指して、年内中に市の考え方とすり合わせを行い、ひとつのステップアップとして実行できればと考えている。

かなり重いテーマであり、本日はオリエンテーションなので、次回の委員会ではどのように論点で審議を進めるか協議していきたい。

人の問題や組織の問題、自治センター長の権限、旧町村の議場等の空きスペースの有効活用等の論点が考えられる。

次回の委員会までにそれぞれの委員さんの方で重要だと考える論点を考えてきて欲しい。

(委員) 自治センターの組織や人員、業務内容について分からないので、教えてもらいたい。

(会長) 事務局の方で資料を用意してもらおう。

(委員) 旧町村に設置された地域協議会はいいことだと思うが、旧上田市内に設置された地域協議会については自治会と役割が競合している。

地域協議会の現状についての資料も用意してもらいたい。

(事務局) 地域協議会の活動状況や審議内容についての資料を用意する。

合併前後の自治センターの組織や人員、経過についての資料も用意する。

(会長) 現場の担当課がどんな問題意識でいるのか、またセンター長がどんな状況にあるのかといった現状を知るのも重要。

次回の委員会でどんな論点で審議するか協議し、実際に現場の担当課の話を聞かなければならないと考えている。

(委員) 旧町村に設置された自治センターと旧上田市内に設置された自治センターは性質が異なると思うが、旧町村に設置された自治センターに絞って議論することは可能か。

合併の経過から旧町村に設置された自治センターは特別なものという思いがある。

(会長) 部長の配置や業務の進め方等で旧町村の自治センターと旧上田市内の自治センターでずれが生じている。

次回の委員会で論点を議論するが、年内に結論を出すため場合によっては専門的に審議する部会を設置することも考えられる。

(委員) 地域ごとの特性を踏まえた行政をいかに展開するかという問題だと思う。

地域自治センターや地域協議会の現在の設置規定や権限などの能力規定について資料を用意して欲しい。

- (会 長) 資料も必要だが、実際に担当課から話を聞かないとわからない。
- (委 員) 制度的な課題と実態における課題とを分けて説明してもらいたい。
- (会 長) 担当者がどんな現状認識を持っているか、ぜひ話を聞いてみたい。
- (委 員) 6回の会議で結論が出せるか。
- (会 長) 次回の委員会で論点を議論するとともに審議の進め方も協議したい。
- (委 員) 旧町村の持ち寄り基金について取り上げてよいのでは。地域協議会でも結論が出ない。
- (会 長) 将来的には、地域自治センターごとに経営計画を策定して、人事やハード整備を含めた方針を決定できるようになればよいが、ワンステップとして地域予算や基金の問題を論点に議論するという方法もある。
- 新たに委員になられた方は次回までに行財政改革大綱をざっと見ておいて欲しい。

#### 次回の日程について

- ・ 9月30日(火) 午前10時から 上田市役所南庁舎5階 第3、4会議室

- \* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- \* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。